

# 「東日本大震災救援ボランティア」報告

京都府勤労者山岳連盟

日程 2011年9月22日～9月26日

救援先 宮城県石巻市北上支所大須地区、栗駒山登山道調査

参加者 CL：横井功（明峯労山）、SL：林導（西山HC）、会計：松岡貴子（WAO 亀岡）、  
和田希美子（西山HC）、大嶋健光（WAO 亀岡） 計6名

## 1) 救援（作業）内容（各日毎に記載してください）

- ・9月23日（金）～24日（土）牡鹿地区（大原浜、鮎川浜）道路の水害による土砂撤去、合計7kmのヘドロ・泥の撤去及び清掃。参加者は京都労山6名、兵庫明昭山の会20名、全国連盟女性委員会8名で行った。台風15号の大雨により集落への幹線道路に甚大な被害が発生し生活道路の確保をする作業日となった。2日間で延べ220名の参加となる。9月25日（日）は牡鹿地区新居浜、台風による土砂撤去を東京からのボランティア6名、京都労山6名、兵庫明昭山の会20名で作業する。明昭山の会は12時まで作業。京都労山と東京のボランティアは2時まで作業をしました。

撤去した土砂は、陥没している道路に埋め戻し、生活道路の確保を行いました。

## 2) 申し送り事項及び教訓

- ・宿泊は、水沼東部構造改善センターを使用させていただき、テントの準備は要らない。
- ・風呂、食事の購入、その他、生活に必要な物は現地で購入できます。
- ・今回は、台風の影響により水道設備が被害に遭い、現地の住民の方々も給水を受けているので、各自の飲み水の確保が必要。
- ・当初の作業予定は牡鹿地区の田畑の復旧でしたが、台風15号により道路の寸断、水道への被害など、震災と二重の被害に遭われたので、災害復旧の作業が中心となった。被災地は広範囲にありますが、ボランティアと被災者の関係で必要な支援をコーディネート出来るところは限られています。現地に行っても半日待たされるなどは、常時起こっているようです。私達のように、事前にいつ、何人が、どのような作業が出来るなど、早く現地に知らせれば、効率よく石巻の労山は対応してもらえます。

## 3) 費用（千円単位・概費用/以後の派遣の参考にします）

- ・ガソリン代【40, 205円】・食糧等【各自】・高速使用料【免除】
- ・風呂代3回【7, 900円】・総計 48, 105円

## 4) 感想及び特記

- ・高速使用料が免除になり、ETCでない場合は、片道17, 000円程度になりそうで、助かった。

石巻でお世話を願う石巻労山の岡前会長の活躍には脱帽です。岡さんの田畑も、この台風の被害を遭われています。

- ・石巻中心部の被災地は、5月に行ったときに比べ、瓦礫が撤去され町の中も幾分落ち着きが感じられたが、牡鹿地区は、小さな集落が多くほとんど手を付けられていない状況に、この6ヶ月間の苦労が胸を締め付ける。合わせて台風の被害が追い打ちをかけています。是非多くの皆さんに被災地の実情を知ってもらい、ボランティアに参加して欲しい。
- ・参加人数は、まとまった方がいいかと思います。人数の多い方が楽しくできると思います。